

横浜市内で実施される自動運転バスの実証実験で、 顔認証による運賃決済を想定した仕組みを検証

ソフトバンク株式会社の子会社である BOLDLY 株式会社（ボードリー、本社：東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO：佐治 友基、以下「BOLDLY」）は、神奈川中央交通株式会社（以下「神奈川中央交通」）が横浜市栄区において 2021 年 2 月 9 日から 3 月 5 日まで実施する中型自動運転バスの実証実験※に参画し、顔認証による運賃決済を想定した仕組みなどを検証します。

<検証内容>

1. 顔認証による運賃決済を想定した仕組み

運転手がない自動運転バスの運賃決済を顔認証で実現することを目指し、日本コンピュータビジョン株式会社が提供する顔認証ソフトウェア開発キットを活用して開発したシステムで、個々の乗客が乗降したバス停を自動で判別する検証を行います。乗車口と降車口付近にそれぞれカメラを設置して、乗降時の乗客の画像を読み込み、位置情報と連携させることで、その乗客の乗車区間を、降車時に降車口付近のモニターに瞬時に表示します。将来的にはこのシステムと決済システムを連携させることで、乗車距離に応じた運賃の決済を顔認証により実現することを目指します。

2. 自動運転車両運行プラットフォーム「Dispatcher（ディスパッチャー）」と座席センサーの連携

今回の実証実験において自動運転バスの遠隔運行管理に活用される BOLDLY の「Dispatcher」と、トヨーケム株式会社が座席に設置したセンシングシステム「Fichvita®（フィッチヴィータ）」を連携させて、「Dispatcher」で乗客の着座人数をリアルタイムに確認できるようにします。自動運転バスの利用状況をより精緻に把握して、需要の検証に活用します。

実証実験の詳細は、神奈川中央交通のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.kanachu.co.jp/>

※ 経済産業省・国土交通省の事業を受託した国立研究開発法人産業技術総合研究所から、バスの運行事業者に選定された神奈川中央交通が実施する実証実験です。自動運転バスの実用化に必要な技術や事業環境などの整備を目的として、最先端技術の検証に加え、地域内の移動手段の可能性に関する調査を行うものです。

- Dispatcher は、BOLDLY 株式会社の商標です。
- このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。
- このプレスリリースに記載されている内容、製品・サービスの価格、仕様、問い合わせ先およびその他の情報は、発表日時点のもので、これらの情報は予告なしに変更される場合があります。